



西東京市議会議員

保谷 なおみ

保谷なおみ後援会事務所

〒202-0013 西東京市中町4-2-18

Tel 042-453-1104

Fax 042-422-0104

HP <http://houya703.net>

6月定例会が開催されました！

人の意見として、尊重すべきだと、私は申し上げました。

「（仮称）子ども条例」は、 やさし過ぎる？

西東京市では今、市内の全ての子どもたちが健やかに育つ環境を整え、子どもにやさしいまちづくりを目指し、「（仮称）子ども条例」の制定が進められています。

昨年、丸山浩一市長は、子ども子育て審議会に対して、「（仮称）子ども条例」の策定についてを諮問しました。これを受け、具体的な検討をするため、審議会では「（仮称）子ども条例」検討専門部会を設置し、検討を進めて来ました。

5月に検討が終わり、検討結果を答申として市長に提出しました。この答申について、文教厚生委員会で説明と質疑が行われました。

虐待する親を、地域が温かく包み込む

委員会の質疑で、「虐待する親には、もっと厳しく対処を」という意見が相次ぎました。

目黒区で5歳児が虐待死した直後の審査だったので、感情的な理由から、そういう意見が多かったのかも知れません。

しかし、虐待は、受け止め方の問題であり、多くの場合、親は「しつけとしてやっている」と言います。

民法上も、親は子どもに対して懲戒権（しつけをする権利）を持っており、「子の利益のために」、「お尻をたたく」程度の体罰は、どの家庭でも皆無ということはないのが現状です。

そのため、どこまでがしつけで、どこからが虐待かの線引きは、一概には定義できません。

ですので、厳しい対処よりも、虐待の疑いのある親でも、地域が温かく包み込み、孤立させないことで、虐待の未然防止をはかる考え方にたって、審議会では、子ども条例の考え方をまとめました。虐待の現場をよく知る

慢性痛対策が必要だ！

一般質問で、慢性痛対策を取り上げました。

慢性痛というのは、痛みの原因だったケガや疾患が治癒したのちに、3か月以上続く痛みを言います。肩こりや腰痛、膝痛も慢性痛です。

慢性痛で悩んでいる人はとても多いですが、原因がわからないため、民間療法も含め、さまざまな機関を次から次へと訪れますが、残念なことに 解決には至っていないケースが多いからです。

特に高齢者の場合、慢性痛がきっかけで、閉じこもりがちになり、やがて、介護が必要な状態になることが少なくないことから、慢性痛があっても、できるだけ身体を動かし、外出することが必要です。

しかし、痛みがあれば安静にするものだという、これまでの通念が邪魔をして、痛みがあるのに、「身体を動かさない」と医者などから言われると、自分の痛みに無理解だと受け止めてしまいがちです。

そのため、市としても、慢性痛の特性について、市民への啓発が必要だと申し上げました。

慢性痛、チームで治療

最近では、慢性痛を、整形外科や精神科など複数の診療科の医師や理学療法士などチームで診療する動きが広がっています。

慢性痛は、メンタルの悩みなどと連動すること多いですが、なかには、メンタルではなく、実際に重篤な疾患が隠れていたケースもあるので、素人判断ではなく、チームによる診療が大切です。

答弁では、「現状の施策どまり」

しかし、市長答弁では、現状の施策以上に踏み込んだ内容はありませんでした。今後に期待します。

高濃度PM2.5は、 本当に「あった」のか？

陳情は、賛成少数で否決

4月28日13時、下保谷にある一般環境大気測定局で、PM2.5の測定値が、1立方メートルあたり118マイクログラムという、非常に高い値が観測されました。これを受けて、健康被害を防ぐ手立てを講じる内容の陳情が、市民から提出されましたが、賛成少数で否決になりました。

自由民主党西東京市議団は反対しました。理由は、高濃度PM2.5は本当に「あった」のか、が、たいへん疑問だからです。高濃度が測定されたのは、1か所で、しかも、たった1回のみのことでした。他の地点、他の日時は、すべて基準値以下でした。

東京都では、今回のような局所的短時間の数値は、欠測処理をし、なかったことにします。

こういう処理は、大気検査においては常識的で、不適切な点はありません。

特に、今回の下保谷の一般環境大気観測局は、一般人の侵入が可能な場所にあるため、計器の不具合だけでなく、いたずらの可能性も否定できません。

もし、本当に高濃度値が観測されたのであれば、外出を抑えるなどの行動抑制を、市民に呼び掛けることになります。影響の大きいことですので、エビデンス（証拠、根拠）はしっかりしたものを提示する必要があります。

西日本豪雨 被災者支援募金を行いました！

7月初旬に西日本を襲った豪雨で、200人を超える方が亡くなり、住宅被害は31道府県の3万9067棟に広がったという報道がありました。

被害者の7割が60歳以上で、特に岡山県真備町では9割で、ほとんどが溺死といわれています。

雨による被害としては未曾有のもので、今後、関東地方でも、同様の災害が起こることが懸念されます。

今、私たちにできることとして、募金活動を行いました。

7月14、15日、自民党西東京市議団は、田無駅、ひばりヶ丘駅で、募金活動を行い、多くの方から浄財をお預かりしました。17日には、自民党都連災害義援金口座に送金しました。自民党本部が取りまとめたのち、日本赤十字社を通じて、全額被災地に寄付します。



田無駅北口で



ひばりヶ丘駅南口で

近況報告

12月23日、西東京市議会議員選挙が行われます！

4年に一度の選挙が、12月に行われます。

早いもので、4期目も、あとわずか。多くの方から支援をいただき、充実した議員活動を送ることができました。5期目に向けて、さらに切磋琢磨を重ねてまいります。保谷なおみのホームページのリニューアルしたことは、前号でお知らせしました。さらに、LINE@も始めました。LINEをご利用の方でしたら、ぜひご活用ください。



ホームページ



フェイスブック



ツイッター



ライン

※ラインアプリから
お入りください